

2010年度 入試問題分析シート

名古屋大学

前期日程

科目

日本史

総括

| | | | | | |
|--------|--------------------|----------|----|-----|----|
| 試験時間 | 90分 | 難易度(昨年比) | 難化 | 昨年並 | 易化 |
| 満点(配点) | 文 200点、情報(社会) 400点 | 分量(昨年比) | 増加 | 昨年並 | 減少 |

<総論>

2009年度に続いて、図版や史料の内容を読み取る問題は少なく、残念であった。分野をまたぐような総合的な知識を求める問題よりも、個別の知識や基本的な展開過程を説明させる問題が多かった。また、近現代の出題が多いことも例年並みであった。全体として昨年同様、極端な難問は見られず、受験生の努力と実力が反映される出題であったといえる。

<特記事項・トピックス>

- ・昨年より論述の問題が増加した。(昨年 32 行 今年 36 行)
- ・図版の問題が全くなかった。
- ・戦後史が出題された。

<合格への学習対策>

教科書のレベルを超える難問はほとんど出題されていないので、教科書を中心に知識を充実させ、各時代の理解を深める学習を進めてほしい。ここ2年は減少しているが、図版や史料の読解を求める問題は本学の定番である。普段から意識した学習をしておきたい。

設問ごとの分析

| 問題番号 | 出題形式 | 分野・テーマ(表題) | 特徴(内容分析・解答上のポイント) | 問題レベル |
|------|-------------------|-------------------------------|--|-------|
| | 論述 (11行) | 古代～中世の政治 | 藤原広嗣の乱と鎮護国家仏教政策、藤原仲麻呂政権平氏政権の特徴など | やや難 |
| | 論述 (9行) 記述 | 中世～近世の文化・政治 | 18世紀末の農村・都市対策、戦国時代の地方文化 中世から近代の連歌・俳諧の発展など | 難 |
| | 論述 (16行) 記述 | A 近現代における憲政の発展 B 高度経済成長の時代 | 尾崎行雄の弾劾演説(史料)、日中戦争以降の政治体制 大審院設置当時の政治状況など 55年体制と保革対立、開放経済体制への移行 1960年代以降の地方自治体 | 難 |

「問題レベル」は、本大学・学部を志望している受験生の入試レベルを基準に、問題の難易度を5段階〔難・やや難・標準・やや易・易〕で判断しています。昨年対比ではありませんので、総括の難易度(昨年比)とは連動しません。